

令和 7 年第 5 回定例会一般質問通告事項

村 上 久 美 議 員 (公 明 党)	質問方式:一問一答方式
12	1 医療的ケア児の非常用電源装置支援 (1) 医療的ケア児・医療的ケア者の方々に対し、「非常用電源装置の購入支援制度」を創設するお考えはないでしょうか (2) 医療的ケア児や電源依存の方がおられるのか、どんな医療機器を使っておられるのか、状況把握をしていますか (3) 「購入補助」がすぐには難しいということであれば、市としてポータブル電源を備蓄して、必要な家庭に“貸す”という方法もあります。あるいは、長期レンタルの費用を市が支援するという形もあります。このような、柔軟な支援のやり方については検討していただけますか (4) 停電リスク、非常用電源の必要性、導入方法などをわかりやすくまとめたガイドを市が作成・配布できないでしょうか。また、市の福祉・防災部門が横断的に連携し、相談窓口を一本化するしくみ(窓口、専用相談窓口、相談会など)を整備することは可能でしょうか (5) 医療的ケア児の個別避難計画作成は、どのような状況でしょうか
月	
5	2 骨髄バンクドナー登録支援制度について (1) 尾道市立大学で出前講座の開催をしてはいかがでしょうか (2) 尾道市立大学に「骨髄ドナー公欠制度」を導入することについて、どのように支援・働きかけを考えておられるでしょうか。また、導入に向けた今後の方針や協議の見通しについてお答え下さい (3) 市役所での献血日には、職員が就業時間内に献血できるよう制度をきちんと整えるお考えはありますか。また、現行制度の課題や改善案、今後の対応方針をどうお考えですか
日	
	3 里親制度推進の基本姿勢について (1) 本市が里親制度をどれほど重要な施策として認識し、どのような方向性で強化していこうと考えておられるのか、改めてお示しください

12 月 5 日	(2) 実際に子どもを預かっておられる里親家庭の状況について、直近のデータはどのように把握されているのか。そして、現時点での課題認識についても伺います (3) どのような普及啓発の取組を行っているのか。また、その効果をどのように検証しているのかお聞かせください (4) 新たに里親になられた方々への研修やサポートについて、県の児童相談所との連携に加え、本市独自の支援策があるのか伺います (5) 相談支援、レスパイト（一時預かり）、専門職による訪問など、どのような支援体制を整えているのでしょうか。また、養育上の困難や虐待リスクを早期に把握するため、市としてどのような仕組みを構築しているのか現状をお聞かせください (6) 学校や地域と連携しながら、子どもの安心と成長を支える取組をどのように進めているのか伺います (7) 学校、医療機関、地域組織、企業などに対し、里親制度への理解促進をどのように進めているのか。また、里親支援を行うNPOや当事者団体との協働体制について、今後強化する考えがあるのか伺います
-----------------------------------	--